

- 博士シリーズ第3話
- 久しぶりじゃ、わしは頭のよい博士じゃ。
- またまたわしはとんでもないものを発明してしまつたのじゃ。
- それは、人間いれかえスイッチじゃ。
- 見ている生き物といれかわれるという夢のようなスイッチなのじゃ。
- 例えばじゃな、お、ちようどよい、今テレビでボクシングの試合がやっているわい。
- この選手といれかわってみるか。
- スイッチオン！
- ほれ、このスイッチをおすと、わしはテレビの中のボクシング選手といれ・・・あ！
- ボクシング選手のパンチがはかせにおそいかかる。
- や、やめて！いたい！いたい！ひえー、
- ーリングの中をにげる選手（中身は博士）
- ・・・・とまあ、こんな感じで、テレビの中の人といれかわることができるのじゃ、
- 効果は5分。
- わしは、このスイッチでテレビ番組にイタズラしてみようと思うのじゃ。
- 最初のターゲットは・・・そう朝のニュースである。スイッチオン！
- 博士はニュースキャスターになった。
- はたして博士の考えたイタズラとは・・・
- 次回へ続く

問い 1 博士の考えた発明とは ()
スイッチ
問い 2 最初のターゲットとは)